様式３

第２４回　全国街路事業コンクール応募資料

平成24年2月

応募者名：仙台市建設局道路部

事業の名称：北四番丁大衡線（荒巻本沢工区）道路整備事業

実施都市名：仙台市

事　業　目　的

仙台市では，安全・安心のまちづくりや，地下鉄などの軌道系交通機関を基軸としたまとまりのあるコンパクトな市街地形成を目的として，骨格幹線道路網となる3環状12放射状線の都市計画道路整備を進めている。本事業では仙台都心部と大衡村の北部中核工業団地を結ぶ広域交通ネットワークの整備による物流機能の強化や，都市内交通の整流化を目的として実施した。

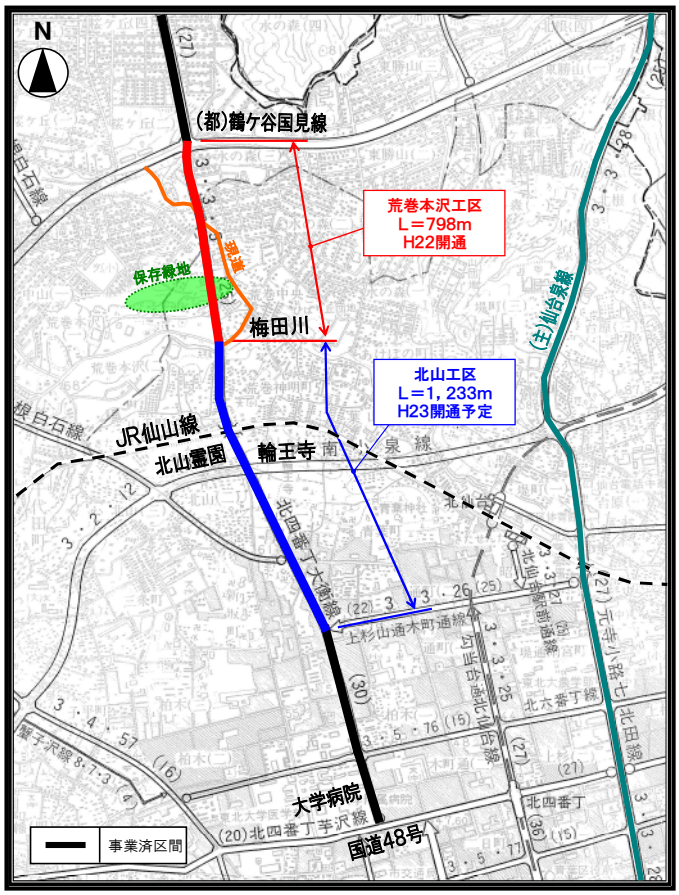
事　業　概　要

事業名称：北四番丁大衡線（荒巻本沢工区）道路整備事業
路　線　名：北四番丁大衡線（荒巻本沢工区）
事業箇所：仙台市青葉区荒巻本沢三丁目～水の森三丁目
事業延長：798．3m
幅　　員：25m（4車線）
事　業　費：約66億円
事業実施期間：平成12年～平成22年

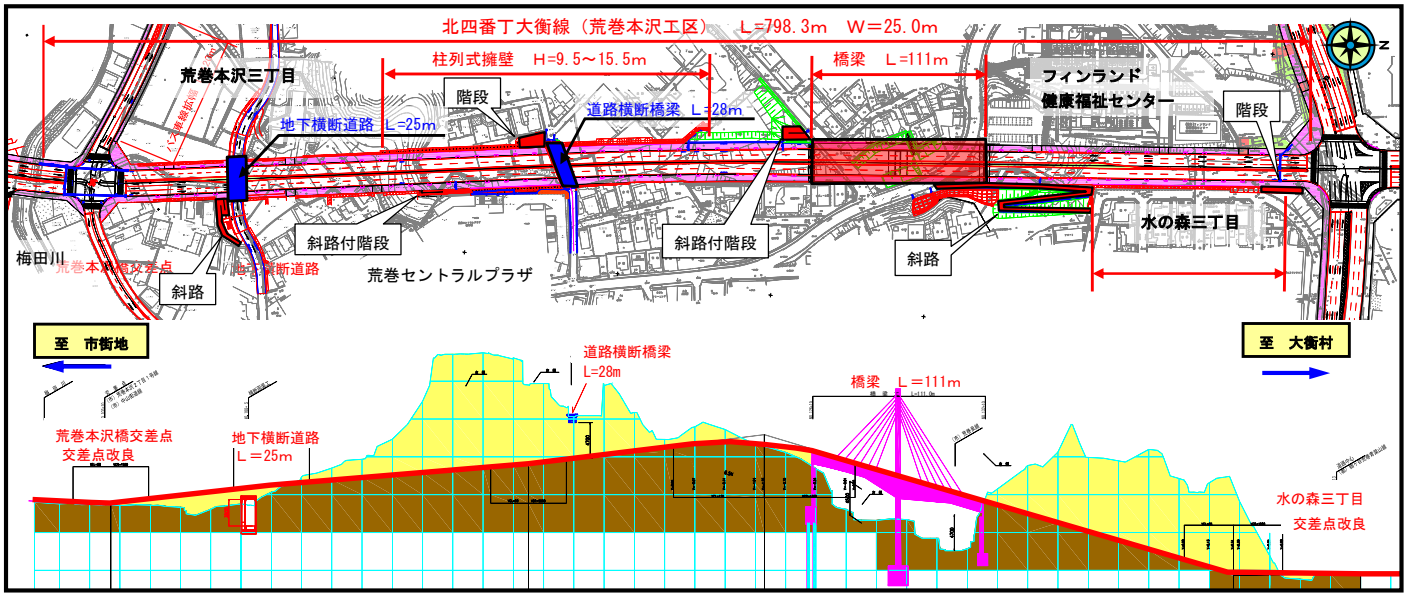
本工区は，切土高が10mを超える区間が多くあり，本市の条例により指定している保存緑地および周辺住宅地への影響を最小限に抑えるため，柱列式擁壁工法を採用し，壁面を垂直にするとともに躯体厚さを抑える構造とし，壁面緑化を施すことにより周辺環境保全に配慮した。

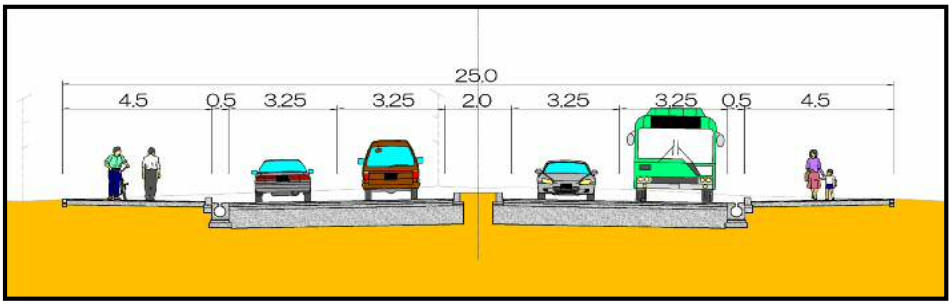
また，橋りょう部において，本線の下を通る現道の通行空間の確保が課題であったが，桁高を抑えるため，2004年当時世界でも実績が少なかった波形鋼板ウェブエクストラドーズド橋を先進的に採用した。

事 業 位 置 図

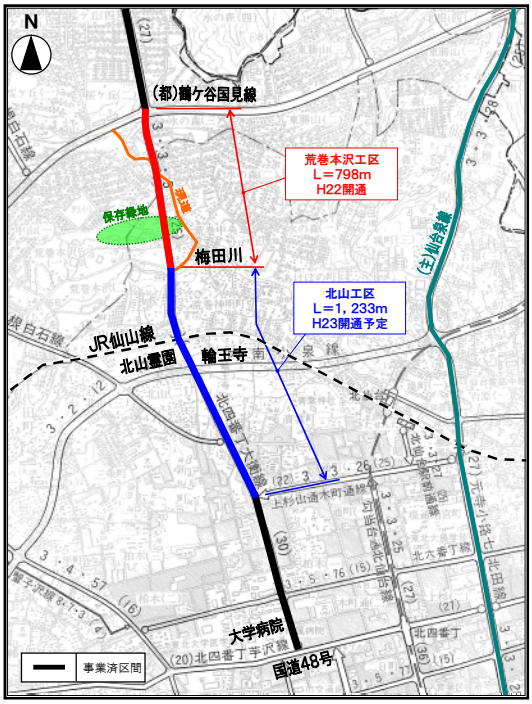


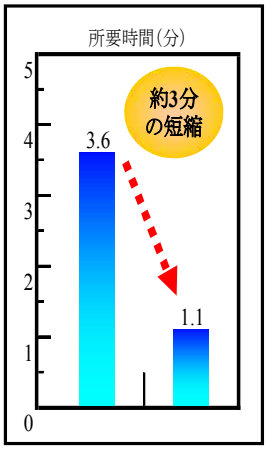
全体図（平面図・側面図・横断図）





北四番丁大衡線の整備効果アピール資料





○事業概要

事　業　名：北四番丁大衡線（荒巻本沢工区）道路整備事業
路　線　名：北四番丁大衡線（荒巻本沢工区）
事業箇所：仙台市青葉区荒巻本沢三丁目～水の森三丁目
事業延長：798．3m
幅　　員：25m
総事業費：約66億円
事業期間：平成12年～平成22年

「整備効果」

・本工区と現道を通行した場合と比較し，約3分の所要時間の短縮が図られた。
・当該路線を通るバス路線が新設され，公共交通を基軸とした交通体系の確立に寄与した。
・現道は歩道が狭小であったが，本工区の整備により安全な自転車・歩行者の通行空間の確保に寄与した。

「その他の事業効果」

・本工区は，切土高が10mを超える区間が多くあり，保存緑地および周辺住宅地への影響を最小限に抑えるため，柱列式擁壁工法を採用し壁面を垂直にするとともに躯体厚さを抑える構造とし，壁面緑化を施すことにより周辺環境保全に配慮した。
・本線の下を通る現道の通行空間の確保が課題であったが，桁高を抑えるため，当時世界でも実績が少なかった波形鋼板ウェブエクストラドーズド橋を先進的に採用した。

事 業 前 写 真

平成13年11月撮影

平成17年9月撮影

平成17年9月撮影

事 業 後 写 真

平成24年1月撮影

平成24年1月撮影

平成24年1月撮影